

初質問

日本共産党苫小牧市議会議員 けんた通信 特別号

民主苫小牧号外 2024年

日本共産党苫小牧市議団の議会報告を致します。

発行先：日本共産党苫小牧地区委員会

苫小牧市見山町2-2-6 電話0144-56-5002



みなさん、こんにちは！

昨年4月の市議選挙で4人の市議団になり、私も初当選することができました。

公約実現に向けて、引き続きがんばります。市政に対するご意見やご相談ございましたら、遠慮なくいつでもご連絡下さい。



森本けんたです



初質問

エゾシカ交通事故 道内苫小牧ワースト1

広がる被害に対策強化を求めました。

ジビエ活用やエゾシカ対策の注意喚起を新たに更新されます。今年の秋には「ふるさと農園」に金網も設置されます。

色んな対策を求めています、みなさんもエゾシカ事故に気を付けてくださいね。

引き続き声をとどけてがんばります。

子どもの医療費助成 2024年8月から18歳まで 拡大が実現！

2023年6月に質問したとき、市長は「検討の最終段階にある」と答弁。全国の子どもの医療費助成で中学生以上は95%にのぼっています。

日本共産党苫小牧市議団が長年訴えてきた子どもの医療費助成の拡大がようやく実現しました。



公共交通を もっと利用しやすく！



沼ノ端駅のホームに屋根の設置とバリアフリー化を求めました。

沼ノ端駅は2007年に改築後、ホームは屋根がなく、あまざらし。北口南口にはエレベーターが設置され自由通路として利用できますが、駅利用に際し階段が多く、障がいがある方、ベビーカーなど利用できないなど困っていることを紹介。

通学・通勤者の声をもとにとどけます。

除雪について 市民の声を届け求める



市内では積雪量が10cm以上の場合に除雪車が出動します。

除雪状況を市のホームページで見ることができますが、市民から「同じ町内でも積雪量が違う」などの声をお聞きしたので、観測地がどうなっているのか質問。

吹き溜まりになった場合や、気温が上がり路面がシャーベット状になった時の対応も、除雪稼働を臨機応変に行ってほしいと求めました。



100歳の敬老祝い品 カタログギフト見直しを求める

市はこれまで100歳の祝金として10万円を渡していましたが、昨年から1万円相当のカタログギフトに変更。

市内のスーパーなどで使える

「お祝い商品券」を作成し地域経済活性化につながる取り組みの提案。市側は「高齢者向け商品が少ないので、まずはカタログ内容の見直しを新年度に検討したい」と答弁しました。

死亡時の手続き・終活に関する お悩み解消へ おくやみガイドブック紹介 作成求める

私の祖父が亡くなった際に手続きが分かりやすかった、今金町のおくやみガイドブックを紹介して市民サービス向上のため作成を求めました。また、市ホームページの検索機能で、たとえば「おくやみ」「死亡時の手続き」と検索しても情報や手続きがわからないことから、改善を求め、改良することになりました。



市販薬等の過剰摂取をはじめ 薬物依存症を抱えている方への 支援について求める

当事者から寄せられた、社会問題になっている市販薬等の過剰摂取(オーバードーズ)について質問。早期発見・早期治療で依存症完治を目指し社会復帰の道を広げるため自助グループや回復治療施設を市内にも必要と求め、市の心に関する相談窓口が3日前予約制になっていることの見直し、小中学校で薬物乱用防止教室やオーバードーズを回避する取り組みへパンフレット作製も求めました。